



学校評価アンケートから見えてくるもの（前期）

新型コロナウイルスの影響で学習内容が制限されることが減り、いろいろな学習活動が可能になってきました。ご協力いただきました前期の学校評価アンケート結果（1年生から6年生までの児童、保護者の皆様、教職員より出していただいたもの）についてお知らせします。今後の山階小学校の指針の一つとして大切にしていきたいと考えています。質問は、知・徳・体・全般と4分野にわたって行い、21項目の質問に回答いただきました。本年度から、質問の項目は児童、保護者とも視点を同じにしました。多岐にわたるその中で、山階小学校の特徴的な項目を紹介し、考察します。

良い点（そうおもう、だいたいそうおもう）が多い質問項目から

下の表の数字は各質問項目で「そうおもう」または「だいたいそうおもう」と答えた割合（%）です。

		1年	2年	3~6年	保護者	教職員
知①	学校の勉強はよくわかる。	90.2	92.5	96.1	95.3	(100)
徳①	学校は楽しい	82.4	95	90.3	96.6	100
徳②	友達と協力してなかよく過ごしている	96.1	87.5	95.4	97.9	100
徳⑤	家族や先生はよく話を聞いてくれる	92.2	92.5	94.8	91.2	95
徳⑩	複数の教員による指導	98	90	99	95.3	100
全③	地域とのかかわり	90.2	87.5	89	98	95
体③	健康・安全への留意	98	95	93.8	98	95

ここ数年、子どもたちは「元気に登校 笑顔で下校」という学校教育目標を全うできる環境にあると言えます。その環境は「おもいやりのある友だち関係」や「地域と家庭と学校で子どもたちを大切にしている」という環境が礎となって成立していると考えられます。

「学校は楽しい」の項目では1年生以外は9割を超える肯定的な回答があり、ここ4年高い結果が出ています。1年生については8割台と課題が見られます。「学校は楽しい」という項目に肯定的な回答が多くなっているのは、本校の学校教育目標の中のフレーズである「元気に登校 笑顔で下校」を実践できていると評価できる結果と考えています。ここ数年、連動していると考えていた「学校の勉強はよくわかる」という項目と「友達と協力してなかよく過ごしている」の項目は依然として高い結果を残しています。「友達との関係が良好だから」「学習がわかるから」学校が楽しいという図式が考えられます。ただ、1年生の82.4%はここ数年行った同様の質問に対する回答の中では、肯定的な回答が少なくなっています。友達関係や学習の習得に関する2つの質問では肯定的な回答が多いことから、平素の様子を観察して、肯定的な回答が低い要因を探っていきたいと考えます。

山階校の特色として、地域の方々の学校教育活動への参画が挙げられます。地域・家庭・学校が三位一体となっているからこそ「家族や先生はよく話を聞いてくれる。」「地域とのかかわり」の質問項目で肯定的な回答が多くみられるようになったと考えられます。現在の状況を大切に、今後も地域・家庭・学校が三位一体となっている現在の状況を大切にしていきたいと考えています。

「健康・安全への留意」は毎年高い肯定的な回答が見られます。交通安全教室や登校班による登校の安全をみまもり隊や交通安全対策協議会や地域委員・保護者などの多くの方々の支援が子どもたちの理解にもつながっていると考えます。前述の内容と重複しますが、地域・家庭・学校が三位一体となって安全指導を実

践できているといえます。山階小学校区は交通状況が安全とは言い難い現実があります。その中で、事故がないことは「子どもたちの意識の高さ」も要因の一つと言えます。健康についても以前から意識は高い様子が見られます。各ご家庭での日々の関りが一番大きい要因であると考えます。また、各学年で行われている、それぞれの学年に合った保健指導も効果を上げています。

本校における複数教員による指導は徐々に進んでいます。以前の学校だよりなどでもお知らせしたように、今まで当たり前であった「学級担任制」がとりづらい状況にあります。中学校のように一つの学年を複数教員で指導する「学年担任制」も現実化しています。現在では同学年の担任間での交換授業・担任以外の教員による授業などを行っています。一番多く行っている6年生は、担任以外の教員による指導が3分の1以上になる児童もあります。その様な取組が高い評価を受けているということは、複数の教員による指導はうまく運営できていると考えられます。様々な工夫をより一層考えて、学習の効果を上げていきたいと考えています。

評価が低かった点（あまりそうおもわない、おもわない）が多い質問から 保護者

肯定の比率

		1年	2年	3~6年	保護者	教職員
体①	基本的な生活習慣	78	90	89.7	96.9	95
知②	進んで読書をしている 下段は昨年度前期実績	74.5↓ 79.5	82.5↑ 70.4	82.5↑ 67.7	71.8↑ 58.0	90↑ 86.7
知③	進んで家庭学習をしている	70.6	77.5	82.5	76.5	85
徳⑨	スマートフォン・PCの使い方	78	67.5	64.5	70.9	90

基本的な生活習慣についてはもう少し多くの肯定的な回答が望れます。「早寝、早起き、朝ごはん」が質問の内容です。「朝ごはん」については、食べていない児童は数名で、「寝坊で時間がなく食べられなかつた」というケースがほとんどでした（夏休み明け生活点検より）。他方、「早寝、早起き」については課題が見られ、低学年においても遅くまで起きているケースが増えてきています。遅くまで起きていると体調を崩すケースも多くあり、家庭での協力が必要と考えます。また、スマートフォンやPCの使い方（後述の考察項目）の課題との関係も大きいと予想します。

「進んで読書をしている」は、ここ数年課題となっている質問項目です。課題になってから、「すずかけ」の方々や学校司書などの協力で図書室の環境整備に腐心してきました。定期的なよみきかせも実施してきました。また、本年度から朝の10分間を「全校読書」の時間として、落ち着いて本に親しむ時間を設定しました。当初はうまく運用できませんでしたが、徐々に落ち着いて本を読む様子が各学年見られるようになりました。今回の回答はまだまだ好ましい結果とはまだ言えません。しかし、昨年度の前期の結果と比較すると、読書への親しみは少しはあるが改善の様子が見られます。いろいろな取組が徐々に結果に結びついてきたのではないかと考えます。今後は、読書の質についても改善を図っていきたいと考えています。読書活動の効果の一つに「語彙を増やす」「文章の理解力が伸びる」などが考えられます。ゆえに、今回の調査の際に「読書」の範疇の中に「マンガ」「図鑑」「迷路・クイズ・占いなどの本」などを入れるべきでないと考えました。「優れた文章から学ぶ読書」を意識してほしいと考えます。各クラスの様子を見ていても、高学年であっても「文字を読まない」児童がいます。ですから、図書の時間の貸し出しの際に個別に声をかけ、それぞれに合った読書を指導していくよう努めたいと考えています。「文字を読む力」というのには個人差があります。過去における「よみきかせの経験」や「本に触れる機会」の多寡による違いが考えられます。ですから、一律な支援ではなくそれぞれの力を見極めていくことが肝要です。「読書」が学力をどんどん伸ばせる万能の手立てと考えて、無理強いをして読書を勧めることが時折見受けられます。まだ読む力が備わっていないのに難しい文章を読んでも理解はできません。苦痛でしかありません。段階を踏み、読書の楽しさを味わえるように適切な支援を行っていくことを心掛けていきたいです。

家庭学習への取組もまだまだ課題を感じます。宿題だけではなく自主学習に取り組むには小さい学年からの積み重ねが大切です。本年度は自主学習で新しい取組を進めているクラスもあり、意欲が上がっている様子も見られます。それぞれの取組を共有したり発展させたりして家庭学習の力を伸ばしていきたいと考えます。

スマートフォンの課題は多岐にわたります。前述の「基本的な生活習慣」との関連が高いと考えます。遅くまで使っており、就寝時刻が遅くなっている例が多くあります。この習慣で朝の体調不良を誘発しているケースも多くあります。遅刻回数や欠席回数に課題が広がっている例も数件あります。使い始めると明確なルールなしで使用の制限をすることは難しいです。テレビでは遅くまで視聴するには家族の許可が必要になるのに対して、スマートフォンなどは家族にとがめられることなく使用できる状況であるので、課題は大きくなります。また、SNSの使用に伴って友達間のトラブルが起こるケースもあります。このような友だち間のトラブルは事実確認が難しく、解決が難しいこともめずらしくありません。学校では、メディア使用に関するモラル教室をしていますが、平素の学習でも随時情報モラルについて考えるようにしています。ただ、学校だけの取組だけではなかなか改善が難しいので、家庭の協力をお願いしたいと考えています。

アンケート結果を見て、山階小学校は地域と家庭と学校が協力して教育活動にあたっていることが明らかになりました。地域・家庭のご支援ご協力は山階教育にとって不可欠です。アンケートには表れていませんが、学校環境の整備（学校周辺の清掃、草木の剪定、芝生の整備）をやっていただいていたり、生活科や総合的な学習で支援いただいたり、野菜の栽培活動を体験させていただいたらと多岐にわたり支援いただいている。その様な支援も含めての「学校は楽しい」「地域とのかかわり」での高い肯定的な回答となっていると考えられます。今後も地域・家庭の支援と協力を得て、山階小学校の素晴らしい長所を大切にしていきたいと考えます。